

第63回東海高等学校総合体育大会自転車競技大会
大会特別規則

審判長 井上 正継
競技委員長 林 将記

共通事項

1. ヘルメット

- ①選手はJCF公認およびJKA認定(競輪用)ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- ②JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は、下記の種目の競技時のみ使用を認める。
 - ・スプリント予選(200mタイムトライアル)
 - ・タイムトライアル
 - ・インディヴィデュアルパーシュート
 - ・団体種目

2. ヘルメットカバー

- ①トラック競技の団体種目を除いた種目全てにおいて使用する。
- ②ロード競技においては男子トラック用、女子ロード用のヘルメットカバーを使用する。

3. ギア制限

16歳以下の場合も、JCF競技規則ジュニアのギア比(7.93m)を上限とする。

4. 身体形態について

「身体形態上の理由による適用免除申請」については、該当者のみを記入する。なお、JCF競技規則を遵守する。

5. 重量制限について

JCF競技規則に定められた重量(6.8kg)を下限とする。

6. コミュニケ

コミュニケ等は指定された場所に掲示する。

トラック競技

1. 招集・検車

招集・検車はバック側出入り口付近に設置し、出走確認とケイリン・速度競走の抽選を行う。招集時間は個々のレースの15分前に行う。

2. ホルダー

スプリント、スクラッチ、ポイントレース以外の種目は競技役員が行う。

3. 1kmタイムトライアル…バック側から時差発走で行う。

4. 500mタイムトライアル…ホーム側から単独走で行う。

5. スプリント

- ①予選はホーム側インフィールドよりスタートし、800m(2周)の距離で行う。

②予選の結果により1／4決勝（2回戦制）から行う。

6. インディヴィデュアルパーシュート

タイムレースで行うので、追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。

7. ケイリン

①周回数は5回で実施し、ペーサーの離脱位置は残り2周回のバックラインとする。

②勝ち上がり方法は以下の通り

- ・1回戦各組上位2名が決勝（6名）へ
- ・敗者復活戦上位2名が決勝へ

8. スクラッチ…距離は8kmで行う。

9. ポイントレース…距離は24kmで行う。

10. スクラッチ、ポイントレースの共通事項

①指定されたレーンに先着順で、スタート位置につく。

②選手は各校のホルダーに支えられた状態で、約半数がそれぞれインレーン、アウトレーンに並ぶ。

③ただし、ヘルメットカバー（白）1番選手はインレーンの先頭につく。

11. プログラムに記載されている個人パーシュートのHとBは、ゴール位置を示す。

12. カウントダウンについて

1kmタイムレースにおいてはセット後5秒で、個人パーシュートはセット後10秒で実施する。

ロード競技

1. 自転車検査

①スタート前 開始式終了後、ヘルメット検査行う。

②フィニッシュ後 完走者のギア比検査を行う。

2. 距離および走行について

①距離 男子 2.8km×20周回 56km

女子 2.8km×10周回 28km

②完全交通規制された周回コースで実施するが、スタート直後、大会運営上の理由により集団をコントロールする場合がある。

3. スタートについて

スタートラインは川側から岐阜県、静岡県、愛知県、三重県と各県2列ごとに整列する。

4. 補給について

①飲食物の補給は認めない。

②機材の補給（交換等）はスタートゴール付近のみ許可する。

③ボトルやゴミ等の投棄は認めない。

④スタート付近以外のコース上への立ち入りは認めない。

5. 関門等での打ち切り

関門所はフィニッシュ地点とし、毎周回先頭がバック地点（フィニッシュ地点の反対側）を通過した時、関門所を通過していない競技者を打ち切りとして除外する。または、先導者と後尾車の状況を審判長が判断し、後尾車に指示させて下ろすこともある。